

注3

大学番号：076

[平成30年度設置]

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更
注1

意見伺い

長崎大学大学院 熱帯医学・グローバルヘルス研究科 グローバルヘルス専攻（博士後期課程）
注2

【意見伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人長崎大学
令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

総務部総務企画課企画室企画班主査（企画） ミノ 美濃 ワカナ 若菜
熱帯医学研究支援課主査 コメダ 米田 マサノリ 征徳

電話番号 095-819-2014

F A X 095-819-2024

e-mail soshikai@ml.nagasaki-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

熱帯医学・グローバルヘルス研究科

＜グローバルヘルス専攻（博士後期課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	9
4. 既設大学等の状況	10
5. 教員組織の状況	13
6. 附帯事項等に対する履行状況等	20
7. その他全般的事項	21

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人長崎大学

(2) 大学名

長崎大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒852-8523 長崎県長崎市坂本1-12-4
(〒852-8521 長崎県長崎市文教町1-14)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	コノ シゲル 河野 茂 平成29年10月		
研究科長	キタ キヨシ 北 潔 平成27年4月		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
熱帯医学・グローバルヘルス研究科 グローバルヘルス専攻(博士後期課程) 博士(グローバルヘルス)	保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	3年	5人	年次 人 -	15人	基礎となる学部等 熱帯医学・グローバルヘルス研究科グローバルヘルス専攻(博士前期課程)

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人	5人	人	5人	人	5人	(-)	(-)	1.2倍	一倍	秋季入学制のため、令和元年度の入学者数等は未定
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	[-]	[-]			
志願者数	-	7	-	-	-	-	(-)	(-)			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[6]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
受験者数	-	7	-	-	-	-	(-)	(-)			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[6]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
合格者数	-	7	-	-	-	-	(-)	(-)			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[6]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
B 入学者数	-	6	-	-	-	-	(-)	(-)			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[6]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
入学定員超過率 B/A	1.2		-		-						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	- [-] (-)	6 [6] (-)	- [-] (-)	6 [6] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	秋季入学制（入学定員：5名）
2年次	/		- [-] (-)	6 [6] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
3年次	/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	
計	6 [6] (-)		6 [6] (-)		- [-] (-)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	6人	0人	平成30年度	0人	0人	
令和元年度	6人	0人	平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	-人	-人	
令和2年度	-人	-人	平成30年度	-人	-人	
			令和元年度	-人	-人	
			令和2年度	-人	-人	
合計		0人		0人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{6} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{6} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<熱帯医学・グローバルヘルス研究科 グローバルヘルス専攻>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
演習科目	グローバルヘルス研究演習	1通	4			9	7	1	8		0
演習科目	グローバルヘルス特別研究	2~3②	12			9	7	1	8		0
合計(2科目)		-	16	0	0	9	7	1	8	0	0
卒業要件及び履修方法											
博士（グローバルヘルス）の学位授与に値する教育を3年、あるいは、それ以上の期間受け、修了要件である16単位以上を取得し、博士論文を作成し、最終審査に合格すること。											

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
演習科目	グローバルヘルス研究演習	1通	4			10	7	0	5		0
演習科目	グローバルヘルス特別研究	2~3②	12			10	7	0	5		0
合計(2科目)		-	16	0	0	10	7	0	5	0	0
卒業要件及び履修方法											
博士（グローバルヘルス）の学位授与に値する教育を3年、あるいは、それ以上の期間受け、修了要件である16単位以上を取得し、博士論文を作成し、最終審査に合格すること。											

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
演習科目	グローバルヘルス研究演習	1通	4			9	7	1	6	0
演習科目	グローバルヘルス特別研究	2~3②	12			9	7	1	6	0
合計(2科目)		-	16	0	0	9	7	1	6	0
卒業要件及び履修方法										
博士(グローバルヘルス)の学位授与に値する教育を3年、あるいは、それ以上の期間受け、修了要件である16単位以上を取得し、博士論文を作成し、最終審査に合格すること。										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ①授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

・4名の教授及び1名の准教授について、前任の研究科において、当該教員の後任補充が平成30年10月1日となり、9月末まで学生の研究指導を行う必要があるため就任が遅延したことから、教授4減、准教授1減となった。ただし、本研究科の学生受入れは平成30年10月1日となり、科目開設時には当該教員は本研究科の専任に就任することとなっている。

・教授1名の退職（後任補充予定）及びACIにより准教授から1名が教授の認定を受けたことから、教授増減なし、准教授1減となった。

・准教授1名が、前職との雇用契約の都合上、就任が遅延したことから、准教授1減となった。ただし、本研究科の学生受入れは平成30年10月1日となり、科目開設時には当該教員は本研究科の専任に就任することとなっている。

・助教1名の退職（後任補充予定）により、助教1減となった。

以上により、「グローバルヘルス研究演習」及び「グローバルヘルス特別研究」の専任教員等の配置を、「教授9」から「教授5」、「准教授7」から「准教授4」及び「助教8」から「助教7」に変更。

【令和元年度】

・教授数について、前任の研究科における当該教員の後任補充の遅延により、就任が遅れていた4名が、学生受入開始の平成30年10月1日付けで就任したこと及び退職教員の後任補充として、ロンドン大学から教授1名を採用したことから、平成30年5月1日時点より教授が5名増となっている。

・准教授数について、前任の研究科における当該教員の後任補充の遅延により、就任が遅れていた1名が、学生受入開始の平成30年10月1日付けで就任したこと、前職との雇用契約の都合上、就任が遅れていた准教授1名が、平成30年10月1日付けで本研究科に就任したが、平成31年3月末で退職したこと及び助教2名が准教授に昇任したことにより、平成30年5月1日時点より准教授が3名増となっている。

・講師数について、1名退職（後任補充予定）したことから、平成30年5月1日時点より1名減となった。

・助教について、2名が准教授に昇任したこと及び1名が退職したことにより3名の減となったが、後任補充として1名を採用したため、平成30年5月1日時点より2名減となっている。

以上により、「グローバルヘルス研究演習」及び「グローバルヘルス特別研究」の専任教員等の配置を、平成30年度より「教授5」から「教授10」、「准教授4」から「准教授7」、「講師1」から「講師0」及び「助教7」から「助教5」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
2 科目	0 科目	0 科目	2 科目	2 科目 []	0 科目 []	0 科目 []	2 科目 []	変更なし

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{\quad}{2} = \boxed{\quad} 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1)	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
校 地 等	校舎敷地	273,129 m ² 274,746 278,148 m ²	0 m ²	0 m ²	273,129 m ² 274,746 278,148 m ²	借用面積406m ² (共用) 九州地区国立大学島原 共同研修センター 借用面積3,190m ² 坂本1団地等における校舎敷 地面積の増減及び宿舍等団地 において敷地面積の錯誤が あったため(元) 坂本1団地において校舎敷地 面積増減があったため(30)			
	運動場用地	99,358 m ² 101,030	12,748 m ²	0 m ²	112,106 m ² 113,778				
	小 計	372,487 m ² 375,746 379,178 m ²	12,748 m ²	0 m ²	385,235 m ² 388,494 391,926 m ²				
	そ の 他	170,116 m ² 167,053 163,621 m ²	107,538 m ²	0 m ²	277,654 m ² 274,591 271,189 m ²				
	合 計	542,603 m ² 542,799	120,286 m ²	0 m ²	662,889 m ² 663,085				
(2)	校 舎	193,419 m ² 182,273	(0m ²)	(0m ²)	193,419 m ² 182,273	坂本2団地において建物面積増 減があったため(元) 組織の再編に伴い、学長直轄のセ ンター系について面積を追加した ため(元) 坂本1団地において建物面積増減 があったため(30)			
		(182,273 m ²)	(0m ²)	(0m ²)	(182,273 m ²)				
(3)	教 室 等	講 義 室 107 室 100	演 習 室 233 室 236 223 室	実験実習室 494 室 491 487 室	情報処理学習施設 26 室 (補助職員 人)	語学学習施設 6 室 (補助職員 人)	大学全体 用途変更があったため(元) 用途変更があったため(30)		
(4)	専任教員研究室	新設学部等の名称 熱帯医学・グローバルヘルス研究科 グローバルヘルス専攻			室 数 25 室				
(5)	新設学部等 の名称	図 書 (うち外国書) 冊	学術雑誌 (うち外国書) 種	電子ジャーナル (うち外国書) 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体の共用分 令和元年5月1日現在の数値に変更 (元) 平成30年5月1日現在の数値に変更 (30)	
	熱帯医学・グロー バルヘルス研究科 グローバルヘルス 専攻	1,033,000 [298,000] 1,035,000 [302,000] 1,039,000 [299,000]	25,200 [7,400] 25,300 [7,500] 25,400 [7,600]	21,300 [19,900] 11,800 [10,800] 13,500 [12,400]	6,260 6,840 7,600	13,602 13,369 12,648	78 80		
	計	(1,023,000 [297,000]) (1,025,000 [296,000])	(24,900 [7,400])	(15,700 [14,400]) (16,000 [14,600])	(6,120) (6,800)	(13,602) (13,369) (12,648)	(78) (80)		
(6)	図 書 館	面 積 10,735m ²		閲 覧 座 席 数 1,273 席	収 納 可 能 冊 数 964,417 冊	大学全体			
(7)	体 育 館	面 積 12,541 m ²		体育館以外のスポーツ施設の概要 弓道場、テニスコート、ハンドボールコート、プール等		大学全体			
(8)	経費の見 積り及び 維持方法 の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
経費の見 積り		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
維持方法 の概要		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
学生1人当 り 納付金		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	長崎大学								備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
【学部】 多文化社会学部 多文化社会学科	年	人	年次 人	人		倍				
	4	100	—	400	学士(多文化社会学)	1.04		平成26年度	長崎市文教町1-14	
教育学部 学校教育教員養成課程	4	240	—	960	学士(教育学)	1.00		平成10年度	長崎市文教町1-14	
経済学部 経済総合学科 昼間コース 夜間主コース	4 4	265 60	3年次 10 5	1,080 250	学士(経済学)	1.03 1.05		平成9年度	長崎市片淵4-2-1	
医学部 医学科 保健学科	6 4	120 106	2年次 5 3年次 10	735 444	学士(医学) 学士(看護学) 学士(保健学)	1.00 1.00	平成30年度	昭和24年度 平成13年度	長崎市坂本1-12-4 長崎市坂本1-7-1	
歯学部 歯学科	6	50	—	300	学士(歯学)	1.00		昭和54年度	長崎市坂本1-7-1	
薬学部 薬学科 薬科学科	6 4	40 40	— —	240 160	学士(薬学) 学士(薬科学)	1.02 1.03		平成18年度 昭和61年度	長崎市文教町1-14 同上	
工学部 工学科	4	380	—	1,520	学士(工学)	1.03		平成23年度	長崎市文教町1-14	
環境科学部 環境科学科	4	130	3年次 5	530	学士(環境科学)	1.03		平成9年度	長崎市文教町1-14	
水産学部 水産学科	4	110	—	440	学士(水産学)	1.03		昭和48年度	長崎市文教町1-14	
【研究科】 多文化社会学研究科 (修士課程) 多文化社会学専攻	2	10	—	20	修士(学術)	1.05	平成30年度	平成30年度	長崎市文教町1-14	
教育学研究科 (専門職学位課程) 教職実践専攻	2	28	—	56	教職修士(専門職)	0.83		平成20年度	長崎市文教町1-14	
経済学研究科 (博士前期課程) 経済経営政策専攻 (博士後期課程) 経営意思決定専攻	2 3	15 3	— —	30 9	修士(経済学) 修士(経営学) 博士(経営学)	1.09 1.00		平成7年度 平成16年度	長崎市片淵4-2-1 同上	

大学の名称	長崎大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
工学研究科 (博士前期課程) 総合工学専攻	2	220	—	440	修士(工学)	1.01		平成23年度	長崎市文教町1-14	
(博士後期課程) 生産システム工学専攻	3	15	—	45	博士(工学)	0.82		平成23年度	同上	令和元年10月入学者数は未定のため含まない。
(博士課程) グリーンシステム創成科学専攻	5	5	—	25	博士(工学)	0.76		平成23年度	同上	
水産・環境科学総合研究科 (博士前期課程) 水産学専攻	2	35	—	70	修士(学術) 修士(水産学)	0.94		平成23年度	長崎市文教町1-14	令和元年10月入学者数は未定のため含まない。
環境科学専攻	2	25	—	50	修士(学術) 修士(環境科学)	0.96		平成27年度	同上	令和元年10月入学者数は未定のため含まない。
(博士後期課程) 環境海洋資源学専攻	3	12	—	36	博士(学術) 博士(水産学) 博士(環境科学)	0.75		平成23年度	同上	令和元年10月入学者数は未定のため含まない。
(博士課程) 海洋フィールド生命科学専攻	5	5	—	25	博士(水産学) 博士(環境科学) 博士(海洋科学)	0.28		平成23年度	同上	令和元年10月入学者数は未定のため含まない。
医歯薬学総合研究科 (修士課程) 保健学専攻	2	20	—	40	修士(看護学) 修士(理学療法学) 修士(作業療法学)	1.12		平成18年度	長崎市坂本1-7-1	
災害・被ばく医療 科学共同専攻	2	10	—	20	修士(看護学) 修士(医科学)	0.85		平成28年度	長崎市坂本1-12-4	
(博士課程) 医療科学専攻	4	60	—	240	博士(学術) 博士(医学) 博士(歯学) 博士(薬学)	1.08		平成14年度	同上	令和元年10月入学者数は未定のため含まない。
新興感染症病態制御学系専攻	4	20	—	80	博士(学術) 博士(医学) 博士(歯学) 博士(薬学)	0.90		平成14年度	同上	令和元年10月入学者数は未定のため含まない。
放射線医療科学専攻	4	5	—	20	博士(学術) 博士(医学) 博士(歯学) 博士(薬学)	0.85		平成14年度	同上	令和元年10月入学者数は未定のため含まない。
先進予防医学共同専攻	4	10	—	40	博士(医学)	0.97	平成28年度	平成28年度	同上	令和元年10月入学者数は未定のため含まない。
(博士前期課程) 生命薬科学専攻	2	36	—	72	修士(薬科学)	0.80		平成24年度	長崎市文教町1-14	令和元年10月入学者数は未定のため含まない。
(博士後期課程) 生命薬科学専攻	3	10	—	30	博士(学術) 博士(薬科学)	0.43		平成24年度	同上	令和元年10月入学者数は未定のため含まない。

大学の名称	長崎大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
熱帯医学・グローバルヘルス研究科 (博士前期課程) グローバルヘルス専攻	2	37	—	62	修士(熱帯医学) 修士(公衆衛生学) 修士(医科学)	0.95		平成27年度	長崎市坂本1-12-4	10月入学
(博士後期課程) グローバルヘルス専攻	3	5	—	5	博士(グローバルヘルス)	1.20	平成30年度	平成30年度	長崎市坂本1-12-4	10月入学
(博士後期課程) 長崎大学ーロンドン 大学衛生・熱帯医学 大学院国際連携ク ローバルヘルス専攻	3	5	—	5	博士(グローバルヘルス)	1.00	平成30年度	平成30年度	長崎市坂本1-12-4	10月入学

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<熱帯医学・グローバルヘルス研究科 グローバルヘルス専攻（博士後期課程）>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	北 潔 ＜平成30年4月＞ 薬学博士	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	教授	金子 聡 ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	教授	有吉 紅也 ＜平成30年4月＞ Doctor of Philosophy （英国）（医学）	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	教授	橋爪 真弘 ＜平成30年4月＞ Doctor of Philosophy （英国）（医学）	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	教授	門司 和彦 ＜平成30年4月＞ 保健学博士	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	教授	神谷 保彦 ＜平成30年4月＞ Doctor of Philosophy （英国）（医学）	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	教授	松山（高木）章子 ＜平成30年4月＞ Doctor of Philosophy （米国）（国際保健学）	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	教授	Sharon Elizabeth Cox ＜平成30年4月＞ Doctor of Philosophy （英国）（栄養・免疫・疫学）	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	教授	由井 克之 ＜平成30年4月＞ 医学博士	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	准教授	井上 真吾 ＜平成30年4月＞ 博士（獣医学）	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	北 潔 ＜平成30年4月＞ 薬学博士	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	教授	金子 聡 ＜平成30年10月＞ 博士（医学）	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	教授	有吉 紅也 ＜平成30年10月＞ Doctor of Philosophy （英国）（医学）	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	教授	橋爪 真弘 ＜平成30年10月＞ Doctor of Philosophy （英国）（医学）	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	教授	門司 和彦 ＜平成30年4月＞ 保健学博士	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	教授	神谷 保彦 ＜平成30年4月＞ Doctor of Philosophy （英国）（医学）	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	教授		
専	教授	Sharon Elizabeth Cox ＜平成30年4月＞ Doctor of Philosophy （英国）（栄養・免疫・疫学）	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	教授	由井 克之 ＜平成30年10月＞ 医学博士	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	准教授	井上 真吾 ＜平成30年4月＞ 博士（獣医学）	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	北 潔 ＜平成30年4月＞ 薬学博士	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	教授	金子 聡 ＜平成30年10月＞ 博士（医学）	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	教授	有吉 紅也 ＜平成30年10月＞ Doctor of Philosophy （英国）（医学）	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	教授	橋爪 真弘 ＜平成30年10月＞ Doctor of Philosophy （英国）（医学）	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	教授	門司 和彦 ＜平成30年4月＞ 保健学博士	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	教授	神谷 保彦 ＜平成30年4月＞ Doctor of Philosophy （英国）（医学）	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	教授	Smith, Christopher Gabriel James ＜平成31年4月＞ Doctor of Philosophy （英国）	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	教授	Sharon Elizabeth Cox ＜平成30年4月＞ Doctor of Philosophy （英国）（栄養・免疫・疫学）	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	教授	由井 克之 ＜平成30年10月＞ 医学博士	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	准教授	井上 真吾 ＜平成30年4月＞ 博士（獣医学）	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	Culleton Richard Leighton ＜平成30年4月＞ Doctor of Philosophy (英国) (マラリア遺伝学)	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	准教授	Nguyen Huy Tien ＜平成30年4月＞ 博士（学術）	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	准教授	奥村 順子 ＜平成30年4月＞ 博士（保健学）	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	准教授	松井 三明 ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	准教授	Saenko Vladimir ＜平成30年4月＞ Doctor of Philosophy (ロシア連邦) (生物学)	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	准教授	増田 研 ＜平成30年4月＞ 博士（社会人類学）	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	講師	上村 春樹 ＜平成30年4月＞ 薬学博士	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	助教	Chris Ng Fook Sheng ＜平成30年4月＞ 博士（保健学）	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	助教	Kim Yoonhee ＜平成30年4月＞ 博士（公衆衛生学）	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	助教	樋泉 道子 ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	助教	和田 崇之 ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	Culleton Richard Leighton ＜平成30年10月＞ Doctor of Philosophy (英国) (マラリア遺伝学)	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専任	准教授	Nguyen Huy Tien ＜平成30年10月＞ 博士（学術）	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	教授	奥村 順子 ＜平成30年4月＞ 博士（保健学）	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	准教授	松井 三明 ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	准教授	Saenko Vladimir ＜平成30年4月＞ Doctor of Philosophy (ロシア連邦) (生物学)	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	准教授	増田 研 ＜平成30年4月＞ 博士（社会人類学）	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	講師	上村 春樹 ＜平成30年4月＞ 薬学博士	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	准教授	Chris Ng Fook Sheng ＜平成30年10月＞ 博士（保健学）	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	助教	樋泉 道子 ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	准教授	和田 崇之 ＜平成30年10月＞ 博士（医学）	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	Culleton Richard Leighton ＜平成30年10月＞ Doctor of Philosophy (英国) (マラリア遺伝学)	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	教授	奥村 順子 ＜平成30年4月＞ 博士（保健学）	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	准教授	松井 三明 ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	准教授	Saenko Vladimir ＜平成30年4月＞ Doctor of Philosophy (ロシア連邦) (生物学)	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	准教授	増田 研 ＜平成30年4月＞ 博士（社会人類学）	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	准教授	Chris Ng Fook Sheng ＜平成30年10月＞ 博士（保健学）	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	助教	樋泉 道子 ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	准教授	和田 崇之 ＜平成30年10月＞ 博士（医学）	・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		〈就任（予定）年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	鈴木 基
		〈平成30年4月〉 博士（医学）
		・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	助教	Bhim Gopal Dhouhadel
		〈平成30年4月〉 博士（医学）
		・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	助教	福岡 健ダニエル
		〈平成30年4月〉 博士（薬学）
		・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	助教	古賀 智裕
		〈平成30年4月〉 博士（医学）
		・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		〈就任（予定）年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	鈴木 基
		〈平成30年4月〉 博士（医学）
		・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	助教	砂原 俊彦
		〈平成31年1月〉 博士（医学）
		・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	助教	Bhim Gopal Dhouhadel
		〈平成30年4月〉 博士（医学）
		・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	助教	福岡 健ダニエル
		〈平成30年4月〉 博士（薬学）
		・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	助教	古賀 智裕
		〈平成30年4月〉 博士（医学）
		・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		〈就任（予定）年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	砂原 俊彦
		〈平成31年1月〉 博士（医学）
		・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	助教	Bhim Gopal Dhouhadel
		〈平成30年4月〉 博士（医学）
		・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	助教	福岡 健ダニエル
		〈平成30年4月〉 博士（薬学）
		・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究
専	助教	古賀 智裕
		〈平成30年4月〉 博士（医学）
		・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
 ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、結めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・前任の研究科における後任補充が遅延したことから、金子聰教授、有吉紅也教授、橋爪真弘教授、由井克之教授、Culleton Richard Leighton准教授の就任が、平成30年4月から平成30年10月に遅延。
- ・松山（高木）章子教授辞職。後任未定であるが、平成30年10月から専任教員採用予定で公募準備中。
- ・奥村順子准教授、准教授から教授に昇任。（平成30年1月教員審査済）
- ・前職との雇用契約の都合上、Nguyen Huy Tien准教授の就任が、平成30年4月から平成30年10月に遅延。
- ・Kim Yoonhee助教辞職。後任未定であるが、平成30年10月から専任教員採用予定で公募準備中。

【令和元年度】

- ・前任の研究科における後任補充の遅延により就任が遅れていた、金子聰教授、有吉紅也教授、橋爪真弘教授、由井克之教授、Culleton Richard Leighton准教授が平成30年10月に就任。
- ・松山（高木）章子教授辞任による後任補充により、Smith, Christopher Gabriel James教授が平成31年4月から就任。（平成31年1月教員審査済）
- ・鈴木基助教辞職に伴う後任補充として、砂原俊彦助教が平成31年1月から就任。（平成30年11月教員審査済）
- ・Chris Ng Fook Sheng助教及び和田崇之助教が准教授に昇任。（平成30年4月教員審査済）
- ・前職との雇用契約の都合上、就任が遅れていたNguyen Huy Tien准教授が平成30年10月に就任したが、平成31年3月末で辞職。（後任補充予定）
- ・上村春樹講師が、平成31年3月末で定年退職。（後任補充予定）

(注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
6	4	6
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学院】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
9	7	1	8	25	10	7	0	5	22
(5)	(4)	(1)	(7)	(17)					
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
24	1	0			21	1	0		
(16)	(1)	(0)							
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
10	7	0	5	22	10	9	0	6	25
[1]	[]	[Δ1]	[Δ3]	[Δ3]	[1]	[2]	[Δ1]	[Δ2]	[]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
21	1	0			25	0	0		
[Δ3]	[]	[]			[1]	[Δ1]	[]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を要受済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	2	2
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{22}{25} = \boxed{88} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{2}{22} = \boxed{9.09} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	教授	金子 聡	H30.4	必修	グローバルヘルス研究演習	—	前任の研究科における、当該教員の後任補充遅延のため就任遅延 (30) 平成30年10月就任 (元)						
				必修	グローバルヘルス特別研究	—							
2	教授	有吉 紅也	H30.4	必修	グローバルヘルス研究演習	—	前任の研究科における、当該教員の後任補充遅延のため就任遅延 (30) 平成30年10月就任 (元)						
				必修	グローバルヘルス特別研究	—							
3	教授	橋爪 真弘	H30.4	必修	グローバルヘルス研究演習	—	前任の研究科における、当該教員の後任補充遅延のため就任遅延 (30) 平成30年10月就任 (元)						
				必修	グローバルヘルス特別研究	—							
4	教授	由井 克之	H30.4	必修	グローバルヘルス研究演習	—	前任の研究科における、当該教員の後任補充遅延のため就任遅延 (30) 平成30年10月就任 (元)						
				必修	グローバルヘルス特別研究	—							
5	教授	松山 (高木) 章子	H30.4	必修	グローバルヘルス研究演習	①	一身上の都合により退職したため就任辞退 (30)						
				必修	グローバルヘルス特別研究	①							
6	教授	Ouilleton Richard Leighton	H30.4	必修	グローバルヘルス研究演習	—	前任の研究科における、当該教員の後任補充遅延のため就任遅延 (30) 平成30年10月就任 (元)						
				必修	グローバルヘルス特別研究	—							
7	准教授	Nguyen Huy Tien	H30.4	必修	グローバルヘルス研究演習	—	前職との雇用契約の都合上、就任遅延 (30) 平成30年10月に就任したが、平成30年度末に辞職。(3) -②に計上。(元)						
				必修	グローバルヘルス特別研究	—							
8	助教	Kim Yoonhee	H30.4	必修	グローバルヘルス研究演習	③	他機関での雇用が決定し退職したため就任辞退 (30)						
				必修	グローバルヘルス特別研究	③							
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)									
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)					
2	人	必修	4	科目	必修	2	科目	必修	0	科目	必修	2	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	4	科目	計	2	科目	計	0	科目	計	2	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1	准教授	Nguyen Huy Tien	H31.3	必修	グローバルヘルス研究演習	③	平成31年3月31日付で、一身上の都合により辞職したため (元)						
				必修	グローバルヘルス特別研究	③							
2	助教	鈴木 基	H31.3	必修	グローバルヘルス研究演習	①	平成31年3月31日付で、一身上の都合により辞職したため (元)						
				必修	グローバルヘルス特別研究	①							
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)									
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)					
2	人	必修	4	科目	必修	2	科目	必修	0	科目	必修	2	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	4	科目	計	2	科目	計	0	科目	計	2	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)									
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)					
4	人	必修	8	科目	必修	4	科目	必修	0	科目	必修	4	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	4	科目	計	0	科目	計	4	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{4}{25} = 16\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由					
1	講師	上村 春樹	必修	グローバルヘルス研究演習	③	H31.3.31付け65歳で定年退職(元)					
			必修	グローバルヘルス特別研究	③						
合計			後任補充状況の集計								
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)				
1	人	必修	2	科目	必修	0	科目	必修	2	科目	
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	
		計	2	科目	計	0	科目	計	0	科目	計

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員についてに記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

令和元年5月1日時点における、設置時の計画より未充足となっている教員は講師1名及び助教3名で、教授が1名増加しているため、実質的には計3名減となっている。講師1名は定年退職によるものであるが、後任補充に向けて準備中であり、また補充した教授1名はロンドン大学から出向する世界トップレベルの研究力及び教育能力をもった教員であるため、3名の未充足であってもカリキュラムに問題はないが、今後も教員を補充していく計画となっている。

学生への周知については、辞職した者については研究科HP上から削除すると共に、メール等で相談があった場合には、個別に説明することとしている。補充された教員については、学生向けに研究プレゼンを実施し、教員交代の周知のみならず研究分野の紹介等も実施している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
該当なし			

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<熱帯医学・グローバルヘルス研究科 グローバルヘルス専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教授会にFD委員会を設置 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FD委員会：全学FD委員会に合わせて教授会において開催しているが、2019年度は10-12月に開催予定。 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員の資質向上の方策を検討予定。 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロンドン大学教員による世界トップレベルのグローバル教育についてのセミナー <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー形式 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019年10-12月に実施予定 <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討中 <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2018年10月より、各クォーター終了時に実施 <p>b 教員や学生への公開状況、方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページにより公開予定。実施については、本学学務システムの授業評価システムを利用。
--

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的については、当初設定したとおりに実現しているが、今後更に教育・研究の水準の向上を図り、設置の趣旨・目的の実現に向け取り組むことにしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

未定

b 公表方法

大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

今期評価期間内（H27～H33）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 (有 ・ 無)

b 公表有の場合の公表（予定）時期 (令和元年 6月 30日)

b 公表無の場合の特段の理由 ()

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。